

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

まちびとの編集・発行は市外業者

町田市内の地域活動や個人を紹介する小雑誌に「まちびと」(年 4 回発行)と言うものがあり、自治会などを通じて無料で頒布されています。町田市が制作費用を負担し、取材材料を提供するものですが、その編集発行については市外業者が受注しています。

先の決算委員会で、「この種のコミュニティー誌では市内業者が受注する機会を持って編集・発行されるようにするべきではないか」と質しました。所管する町田市の市民協働推進課は、「発注方法は提案型のプロポーザル方式で市外業者に決定した」と答えました。そこで、私は、「次の契約時には、地元の企業が作成することに高い評価が与えられるよう競争形式の改善をされたい」との主張を撤回しました。

小田急多摩線延伸について

町田市は、小田急多摩線の延伸に以前の消極的な態度からようやく協調のスタンスに変わってきましたが、まだまだ課題が大きく残っています。

決算委員会では、「交通需要検討事業」の支出に関して質問しました。「小田急多摩線延伸に関して、市の単独事業で相模原市と共同負担をしているが、多摩市との関連はどうなっているか」と問うと、「小田急多摩線延伸計画の関する研究会には、多摩市も入っている」との答えでした。しかし、現実には多摩市の負担はなく、「交通事業のネットワーク推進は多摩市を含めた協調と共同負担の歩調を取れるように図られたい」と求めました。

伊豆大島が台風で大被災

今年台風襲来が 10 月に入っても続き、関東では各地で大雨が降ったほか、伊豆大島では多数の犠牲者が出た上、家屋などの被害も甚大なものでした。その伊豆大島(東京都大島町)とは、「リス園」の開設を通じて町田市との縁が深く、議会を含めた交流を行っています。町田市の行事においては、大島町の皆さんがたびたび出店をして盛り上げてくれています。



市議会では、今期の議会だよりの発行に際し、次の文を掲載しました。あわせて、市議会全員で見舞金を送ることにしました。

謹んで台風被害のお見舞い申し上げます。

台風 26 号により、多くの被害が発生しました。特に甚大な被害に遭われました大島町の惨状には胸が痛みます。犠牲となられた方々にご遺族に対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に対しては、心からのお見舞い申し上げます。

また、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

第 32 期研修生記録:野村 南

今回は町田市青少年健全育成地区委員会南ブロック 6 地区委員会合同主催の講演会に行きました。講師は前ハイパーレスキュー隊隊長の高山幸夫さんでした。現町田消防署課長ですが、10 月付けで昭島の方に転任されるそうです。講演のタイトルは「災害から学ぶこと～伝えたい本当のこと～」で、高山さんが実際に現場で体験した出来事を聞くことができました。



前回は東日本大震災に特化した講演だったそうで、今回は東日本大震災に加え、阪神淡路大震災、スマトラ沖地震、福知山線脱線事故などの大きな災害も含めお話くださいました。

私が印象に残っているお話は、消防の隊員はむやみにがれきなどを退かして、下敷きになっている人を助けるのではなく、土木関係の方と一緒に「これを退かすと助けられる」や、「これを退かしてしまうと、さらに下敷きになってしまい、命が危ない」など、がれきの積み上がり方でどのような影響を与えてしまうかの情報をもらいながら、救助を進めていくということでした。そのため、が

れきの下敷きになりながらも生きている人がいたとして、助けようとしたがれきを退かしたくても、さらに怪我などを負わせてしまう可能性がある場合、その後様子見となってしまう、力尽きて命を助けられないということがあるということでした。

消防隊員はまず生きている命を優先することが仕事だそうで、脱線事故などの場合、どの命がより救える可能性が高いかという命の選別(トリアージ)がとても重要だとお話されました。

このように様々な体験を経て、高山さんは最も重要なこととして、まず家の耐震性・防災対策を十分に行ってほしいと話されていました。私の家にいれば絶対に安心なんだという自信があるくらいでないのだめだそうです。そして、人を助けるためにはまず勇気を持って自分の命を守ることが大切だともお話をくださいました。自分を守れなくて他人を守れるわけがないと高山さんは強く仰っていて、本当にその通りだなと感じました。

今回私はこのお話を聞いて、自分の知らなかった東日本大震災、昔のことだと忘れていた沢山の災害を思い出しました。本当に自然の力というのは怖いもので、絶対に甘くみてはいけないのだと感じました。まずはできることから、家の防災対策を始めたいと思いました。

(昭和女子大 2 年 野村 南 : 第 32 期研修生)

第 33 期研修生を募集中

32 期生の研修期間は終了しました。新たに、2013 年度後半期(第 33 期)、あるいは 2014 年度前半期(第 34 期)のインターン生を募集しています。応募希望者は<吉田つとむ インターン募集>とネットで検索して下さい。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp